

「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」(学校を核とした地域力強化プラン) (学校の働き方改革をふまえた学校支援活動)の取組事例

「キャリアセミナー」(宮城県亘理町)

取組の概要や経緯

地域を再生していくにあたり、自分たちの生き方やまちづくりについてしっかりと考えることのできる児童・生徒を育成することが大切である。

そこで、町内中学校の生徒に対し、様々な職業や立場で活躍している方の講話を聞くことができる場面を設定している。

生涯学習課主催となり、NPOへ委託し、学校の働き方改革をふまえた学校支援(キャリア教育支援)の一環として、平成24年度から継続して開催している。

働く意義、喜びや苦勞、夢を実現させるための過程で大切にすべきことなどを聴き、自分の生き方をしっかりと考える機会とすることを目指した事業を行っている。

内容

○ONPO法人ハーベストに、事前打合せ及び当日の運営を委託。

○町内4つの中学校で実施。中学2年生対象(小規模校は1, 2年生)

○学校規模及び要望等をふまえた講師選定をお願いして、生徒は希望の講師2人から1時間×2コマずつ受講してアンケート用紙記入。



ポイント

- ①学校の働き方改革をふまえた、キャリア教育支援の一環として、学校や生徒の要望も取り入れた柔軟な講師選定及び協力体制を構築し、生徒の学びを深める。
- ②様々な職業や立場の講師を選定により、生徒の興味・関心を引き出す。

成果

・将来の目標が決まっていない、大人になることや働くことのイメージができていない生徒が多数。どのように生きていきたいか、また、将来の夢や職業をどのようにしていきたいかを考えることに対する意識の深まり高まりが感じられた。

・NPO法人ハーベスト及び講師の方々、学校が、事業の趣旨を理解し、自分たちの生き方についてしっかりと考えることのできる生徒の育成に対する協力体制が感じられる。

※校長先生の感想抜粋

生徒は普段、家族と教員しか接する大人がいない。身近にいる様々な職業をしている大人の生の体験談を聞いたことは大変有意義である。講師の先生方と一緒に教室へ戻ってくる生徒の様子を見て、ためになる充実したお話をいただいた時間を過ごせたのだと感じた。

今後の方向性

- ・現在、町内4校の中学校2年生対象で開催しており、職場体験も2年生で実施しているため、繋がりを意識した事業展開をしていくことも有効であると考えられる。
- ・講師の選定にあたって、まちづくりに関わる方に来てもらい、講話をいただくことでより、まちづくりに興味・関心を持ってもらうようにする。